

『さいせき・函館』… 20150622号



地震、活火山の噴火と地下では、どうなっているのでしょうか。ある学者は長い歴史の中でこれは予期していたもので、今まで静かだただけと言っています。縄文・弥生・古墳時代からも1707年の宝永地震に匹敵する巨大地震が11回は少なくとも発生していた痕跡があるとか。どんな時代も地震災害は幸せな家庭を引き裂き、平和な地域社会全体を崩壊させ、時には集落ごと抹殺する悲惨なモノになっていることは過去も現代も同じであると思います。その震災の経験から多くのことを学んだ我々日本人であり、今日を生きる我々はその災害を予期して被害の軽減化を肝に銘じてインフラ整備をして参りました。今政界で審議されている安全保障関連法案は、地震災害のように幸せな家庭、平和な地域社会、

ときには町ごと抹殺する地震災害のようにならないための手段なのか。或いは、なってもしかたのない状況の中で日本国を守る為のモノなのか。限られた政治家と期間で協議していているだろうか。などと考え大きな音と日々の仕事の無さにおびえる今日この頃です。

◇北海道砕石協同組合連合会・(一社) 日本砕石協会北海道地方本部の動向

- ①平成27年度全国安全週間が7月1日から7日まで、その実効性を上げるため、6月1日から6月30日まで準備期間としております。労働災害防止の重要性を認識し、安全活動の着実な実行を図っていきましょう。
- ②災害報告〈死亡災害〉
 - ・6月3日大阪府内の砕石場に置いて原石車がバックしたのに気付かず、接触転倒し轢過される。
 - ・6月12日北海道札幌市西区平和の砕石場にて表土処理中に重機が滑落し、その際投げ出される。
- ③(一社) 日本砕石協会総会6月4日東京港区のホテルで行われました。函館支部からは出席していません。総会資料が送られて来ていますので閲覧希望者は当事務局に連絡頂きたいと思えます。

◇道南地区砕石協同組合・(一社) 日本砕石協会北海道地方本部函館支部の動向

- ①6月9日渡島総合振興局、檜山振興局の商工・林務に事務局と挨拶廻りをして参りました。檜山振興局には佐藤副支部長、木口流通委員長も同行し新着任の方々とは名刺交換、組合の現状について協議して参りました。
 - ・両振興局の商工・林務等に於いては、各事業所に対して指摘事項等があった際に、組合にもその内容等を連絡して頂き、組合として速やかに各事業者と協議していく方向を申し上げて参りました。
 - ・巡回指導の日程協議と視察事業所範囲についても協議して参りました。特に本年は、渡島総合振興局に於いて従前から組合として巡回していない七飯地区を巡回する事を指摘されておりますので工程に入れます。
- ②平成27年度全国安全週間が7月1日から7日がはじまります。その実効性を上げるため既に、6月1日から6月30日まで準備期間として現在進行形です。全国安全週間を契機にそれぞれ会員各社の職場で、労働災害防止の重要性を認識し、安全活動の着実な実行を図っていきましょう。
 - ・安全週間スローガン…『危険見つけてみんなで改善 意識高めて安全職場』
 - ・雨量の少ない天候が続いております。各事業所に於いては、急な天候の変化で採掘面や緑化法面の安全確認はもとより、沈澱池等の清掃整備等を心掛けて下さい。
- ③ちっと気になる記事を読みました。国土交通省は、公共・民間公益・民間の各工事現場で建設発生土を調整する試行をするとの記事です。これは国交省が2014年9月に策定した「建設リサイクル推進計画2014」で官民が一体となって建設発生土の相互有効利用をマッチングし強化するモノで、試行といえども現実的になるのは時間の問題です。バーजनを扱う我々砕石事業に於いては由々しき問題でありますので今後その動向を注視すると共に本部にて問題提起して参りたいと考えています。
- ④最近また、じわじわと軽油価格が高騰して参りました。生産コスト、運搬コストの経常経費が負担増としてのし掛かってきています。それぞれに経費節減対策を強化すると共に軽油価格に注視しましょう。

協会に対してのご意見、ご要望がありましたら、いつでもご連絡下さい。